

佐賀市立図書館

大規模改修

基本構想・基本計画



佐賀市教育委員会

本計画の位置づけ

佐賀市 スローガン

動きます、佐賀市。
常に挑戦しつづけることで、常に価値を生み出す市政へ

令和5年のチャレンジ

3つの「新しい」を実行する

1. 新しい“暮らし”を構想する
2. 新しい“人”を巻き込む
3. 新しい“体験”を創る

新しい“体験”の場

これから、大規模な改修を控えている 佐賀市立図書館
今年、鍋島家から寄贈を受けて100周年を迎える神野公園
時代の変遷とともに、求められる役割が変わってきている公民館

佐賀市立図書館大規模改修にかかる基本構想及び基本計画

動きます、
佐賀市。

はじめに 1

これまでのあらすじ 2

本を好きになるきっかけを 3

「本を好きにさせてくれる体験」のシンボルになる風景を . . . 4

新しい"体験"を創る発想で新しい図書館をつくります 5

市民の声を聞きました 7

市民の声をモデル化しました 9

これまでの図書館は 10

現状の課題を分析しました 11

誰もが自由にのびのびと過ごす場所とは? 12

これからの図書館は? 13

ゆとりある空間を生み出すために 14

ゆとりある空間にこんな機能を盛り込みます 15

未来の子どもたちのために 16

今後のスケジュール 17

新しい“体験”を創る



“体験価値”発想の 図書館づくりを

市には、たくさんの施設やイベントなどがあります。
これまであったものも、これから作っていくものも、
「モノや場をつくる」発想より先に
「訪れる方の体験を豊かにする」発想で、
もっと新しい“体験”を創っていきます。

図書館なのに、公園みたいに過ごせる場所。

新しくなる市立図書館は、そんな考え方で進めていきます。

本を楽しめる、本をもっと好きになる、という図書館らしさを真ん中に、
いつも新鮮ななにかに出会えるコンテンツ。

そして、好きな時間を思う存分楽しめる時間。

すべて、この場所を訪れる市民のみなさんに、

自由に、のびのびと、気持ちよい時間を過ごしてもらえるようにします。

本を好きになるきっかけを

憧れたあの人が勧めてくれた本を、何気なく手にとった。
お気に入りのイスを買ってから、読書する習慣が生まれた。
大学生のとき、ある小説を読んでひとり旅に出た。
なつかしい絵本を読み返したら、絵本の世界にはまってしまった。

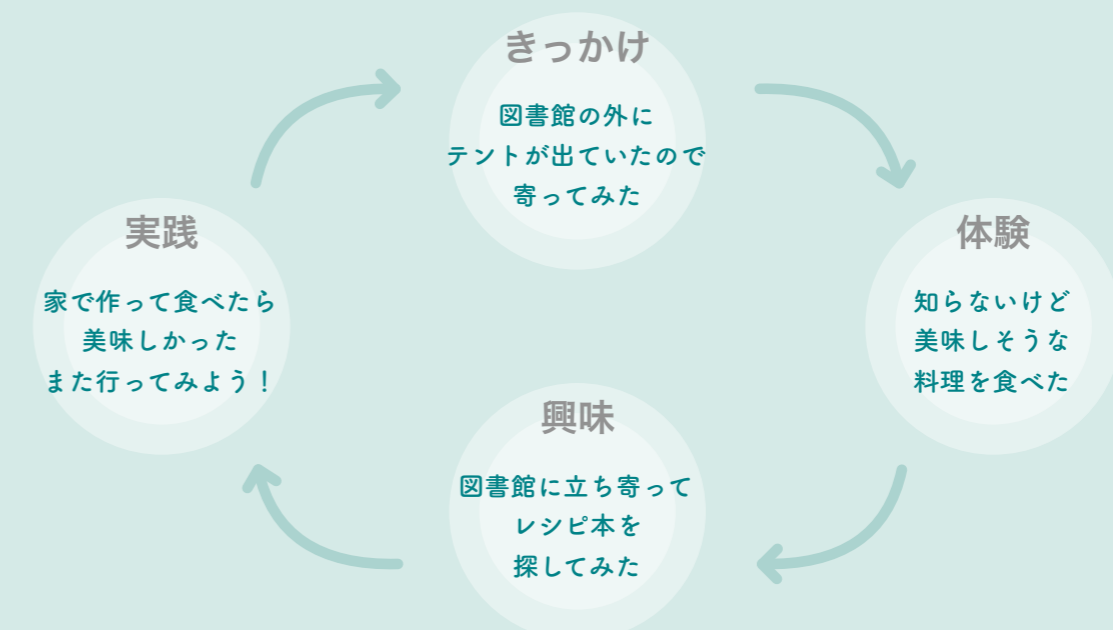
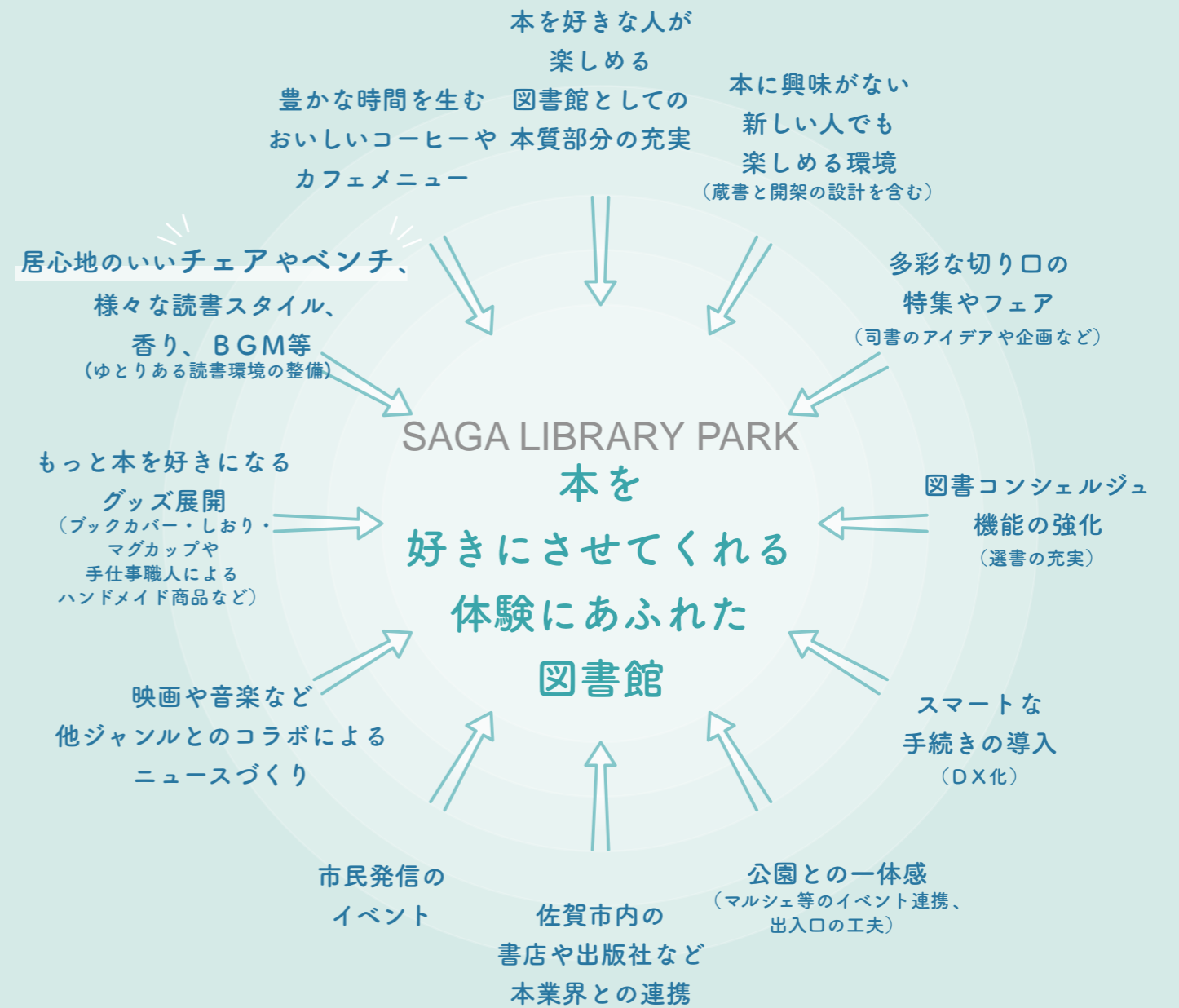
本を好きになるきっかけは、人の数だけあります。

この図書館は、そんな気持ちにまだ出会っていない人たちに
「本を好きになるきっかけ」を
生み出していくための場所にしたいと考えています。

たとえば、
いつ来ても、気になるテーマのフェアをやっている。
のどかな公園で、おいしいコーヒーを飲みながら過ごせる。
マンガや音楽とのコラボもあって、友だちと誘い合える。
そこで働く司書さんに、どんなことでも相談できる。

もともと本が好きな人にはもちろん、
これから本を好きになるたくさんの人たちにも、
きっと気に入ってもらえる図書館にしていきたいです。

佐賀市立図書館リニューアルに向けて。
あなたの毎日を変えるような、すばらしい本の世界へ。

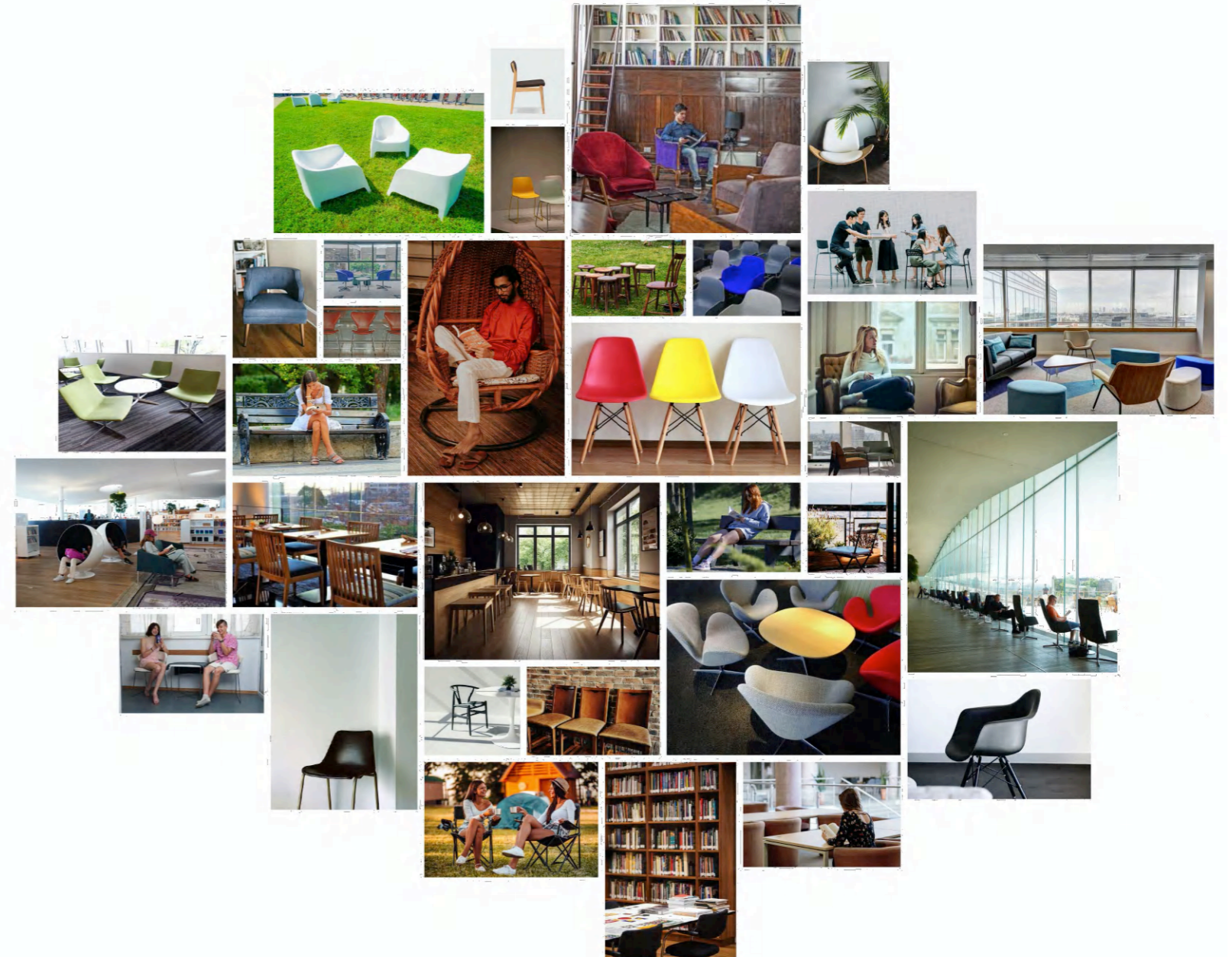


「本を好きにさせてくれる体験」のシンボルになる風景を

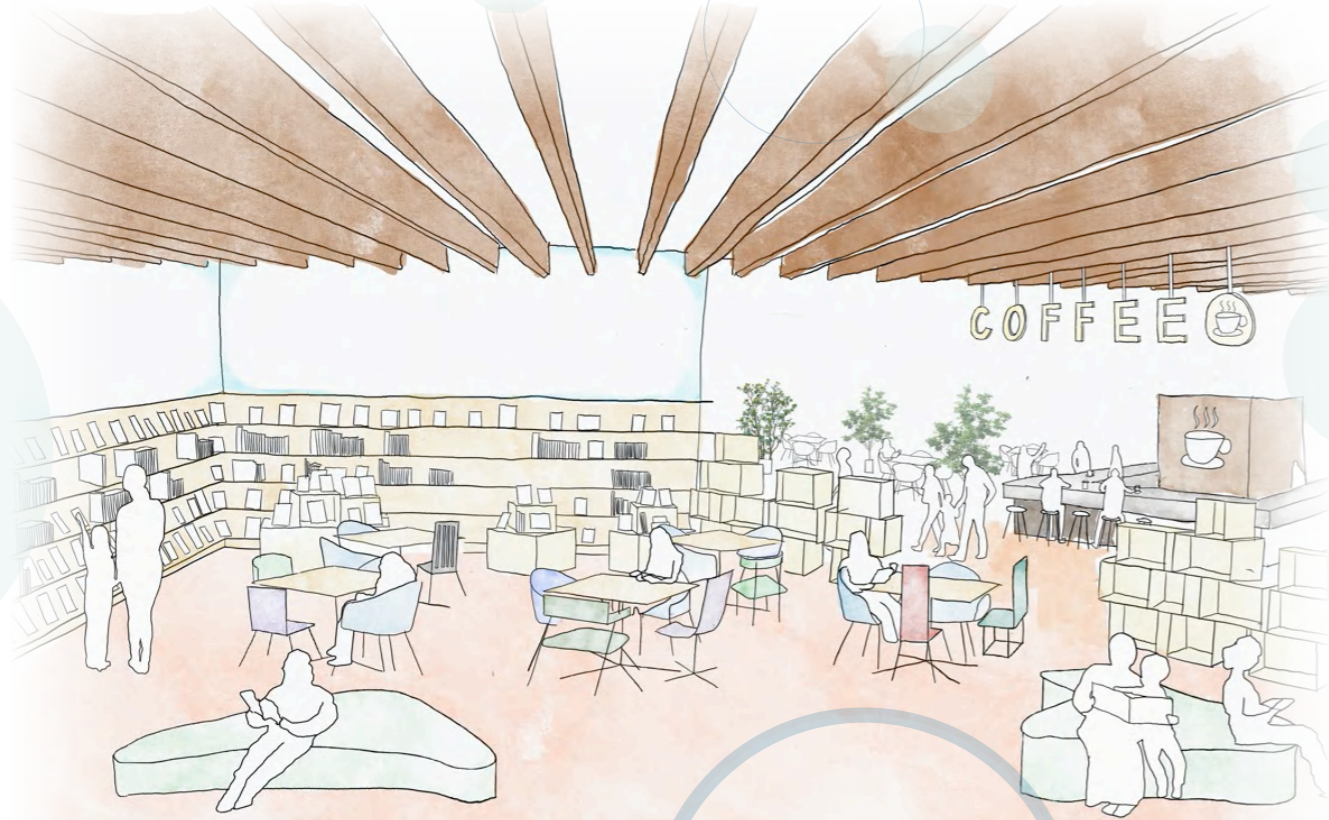
そこは、

「イスとベンチの図書館」。

見渡すかぎり配置された、いろんなイスとベンチ。
それが、この新しい佐賀市立図書館のシンボルです。
ライブラリーパーク＝図書館と公園を融合させたような
「知と自然」に囲まれた環境で、
お気に入りのイスやベンチをさがして、見つけて、座る。
気持ちのいい時間の流れの中で、思うぞんぶん、本を楽しむ。
天気の良い日にピクニックをするように。
おいしいコーヒーや焼きたてのパンをおともに。
本を読むにも、おしゃべりを楽しむにも、勉強したい放課後にも。
そんな体験ができる、みんなの場所にします。
訪れるたび、いろんなイスやベンチを試したくなるから、
なんども来たくなるワクワクがある。
公園であり、図書館でもある、このふしぎな空間が、
全国の他のどの図書館にもない個性が、
このまちに新しい風景を、新しいにぎわいを
生み出す場所になりますように。



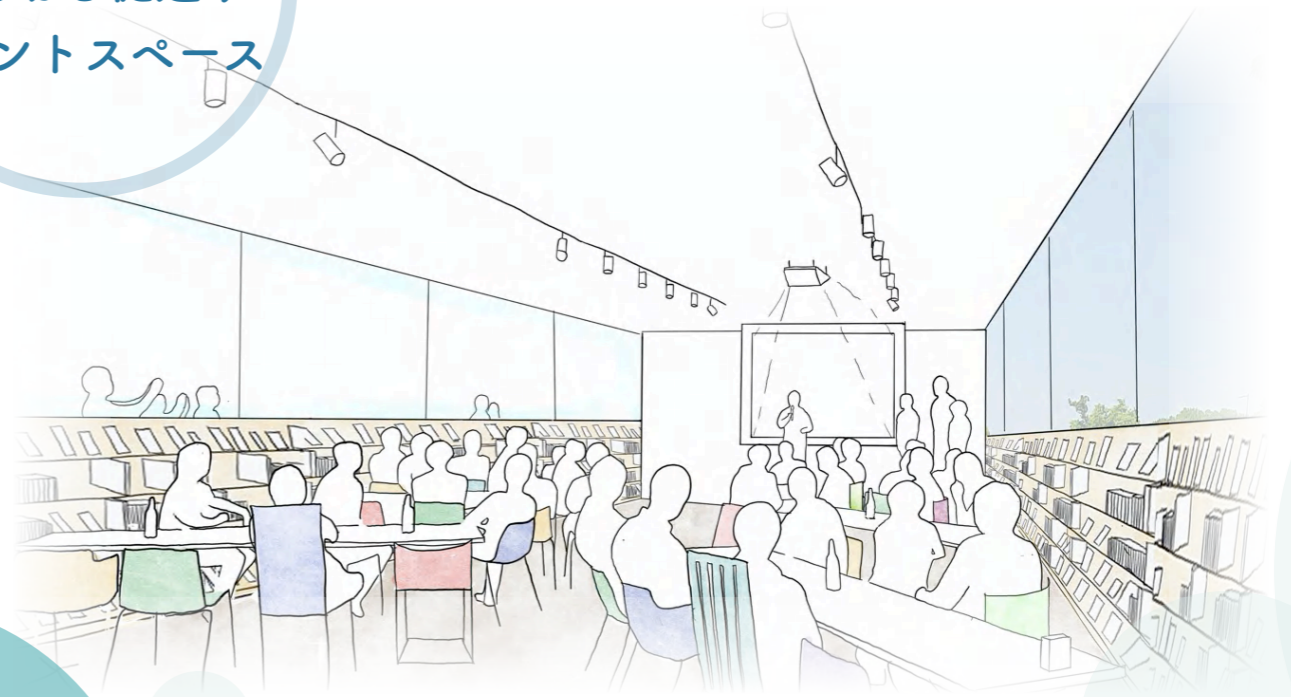
新しい“体験”を創る発想で新しい図書館をつくります



市民のコミュニティや
創作活動を促進する
イベントスペース

ゆったりした空間で
コーヒーを飲みながら
くつろげる

本を好きになる
きっかけを
生み出す場所



青空の下、
公園でも図書館の
本を読む



賑わいあるマルシェと
一体感のあるスペース

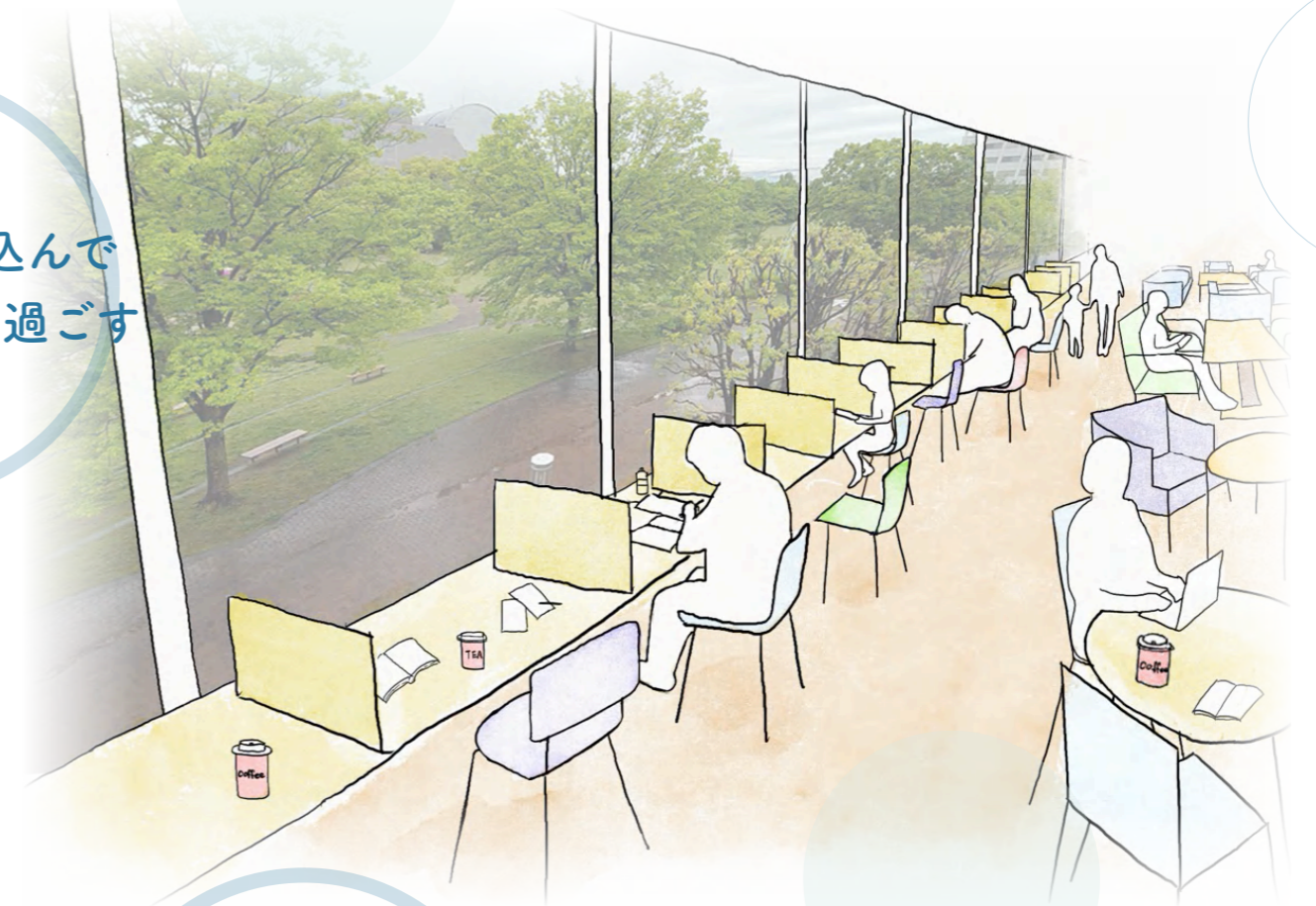


新しい“体験”を創る発想で新しい図書館をつくります

魅力ある図書企画の
充実により思わず
本を手にとってしまう



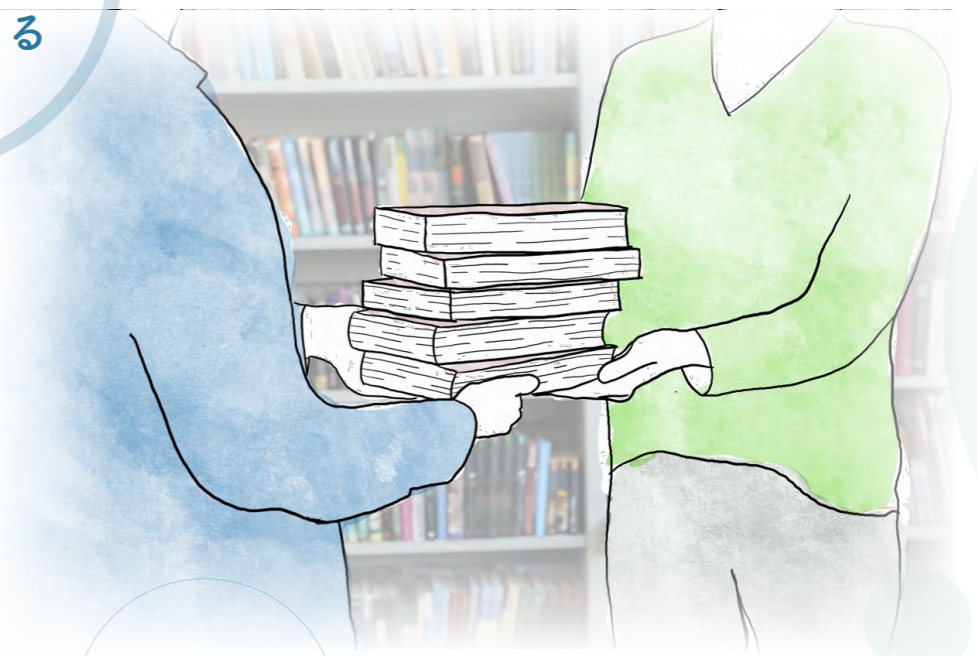
飲み物を持ち込んで
緑を眺めながら過ごす



さらに
充実する
図書空間

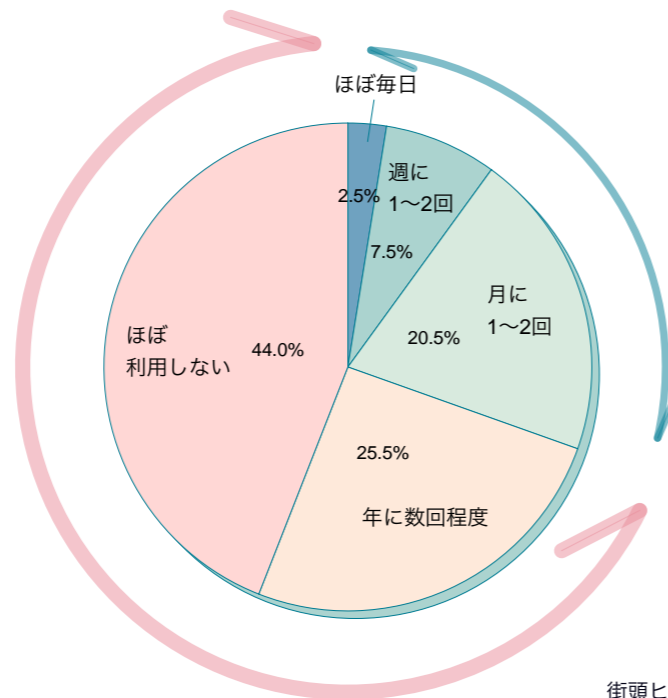
選書支援の充実により
欲しい情報に
たどり着ける

スマートな手続きにより
手軽にストレスなく
借りられる



図書館に来る頻度は？

約7割の方が
図書館をほとんど
利用していない！



約3割は
月2回以上
利用している

街頭ヒアリング（回収数：200部）

市民アンケートによる意見

佐賀市立図書館の大規模改修に当たり、従来の図書館機能に加えて新しい体験もできる図書空間の実現及び市民ニーズの把握のために街頭アンケート・ヒアリングを実施しました。

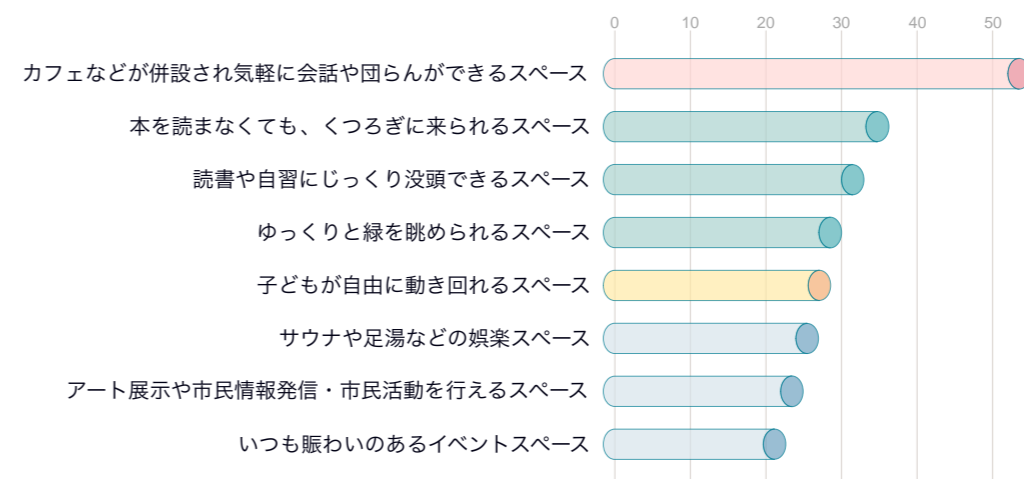
一定割合で本を読む習慣はあるが、図書館を利用するきっかけ・動機を持たない市民が過半数程度であることが予測されます。一方で、「読書や自習に集中できるスペース」など既存の図書館機能の充実に加え、「団らん」や「くつろぎ」など本・読書以外をきっかけとする機能や空間の拡充を図ることで、より多くの市民が親しみやすい施設になると思われます。

図書館にあったらいいなと思う機能や空間は？

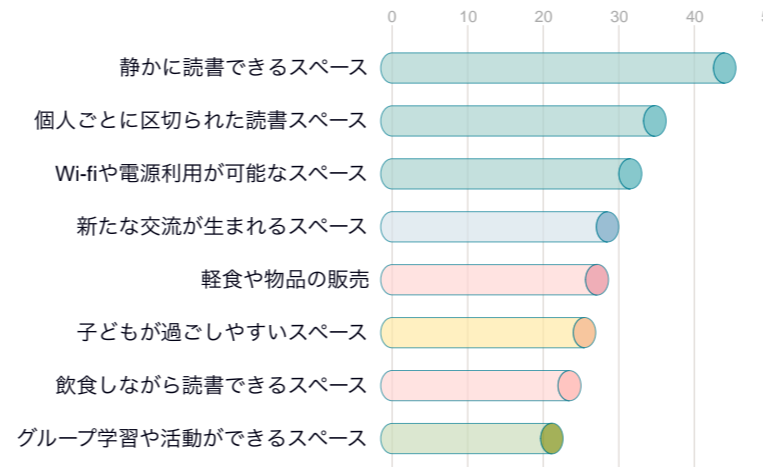
これまで利用しなかった人は
本だけでなく新しい機能を期待している

- 本を中心とした集いの場、交流の場、憩いの場
- 作家のイベントやグッズ販売
- PCを持ち込んで作業したい、Wi-fi環境も整備してほしい
- 図書館に泊まってみたい
- 静かすぎず楽しい雰囲気にしてほしい
- カフェやレストランがあれば行きたい！
- 色々な世代、色々な立場の人が、物理的にも心理的にも訪れやすくしてほしい
- 音楽関係のイベント
- 外で本を読めるスペースをもっと広く
- 学校で習ったことの発表会
- ゆっくりと緑を眺められるスペース
- 子どもが自由に動き回れるスペース
- サウナや足湯などの娯楽スペース
- アート展示や市民情報発信・市民活動を行えるスペース
- いつも賑わいのあるイベントスペース

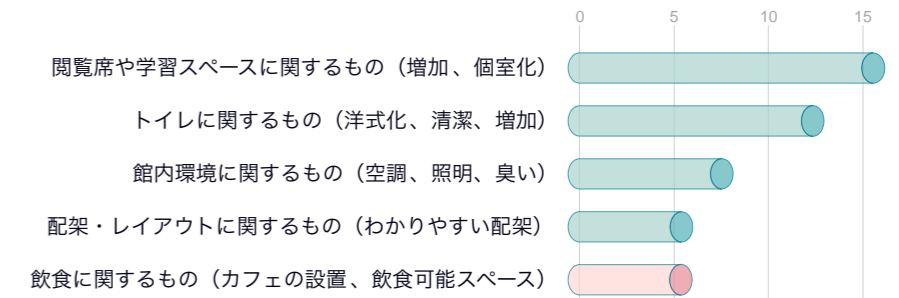
街頭ヒアリング <図書館に望む機能や空間> *1



市民意向調査 <充実を求める機能> *2



メッセージボードによる意見 <主な意見・施設関係のみ> *3



*1 回収数：200部
*2 対象：無作為に抽出した18歳以上の市民5,000人、有効回答：1,135件
*3 有効回答：487件

市民・職員 ワークショップ

<第1回>
実施日：2023年9月23日(土) 15:00～17:00
テーマ：屋外と屋内の繋がりを考えよう

普段の自分自身の行動や趣向から要素を抽出し、それらをもとにして新しい図書館にあったらいいと思う機能や空間を検討しました。

どん3の森の芝生広場の
開放性や南西の小川や
遊歩道の落ち着いた
雰囲気の魅力がある

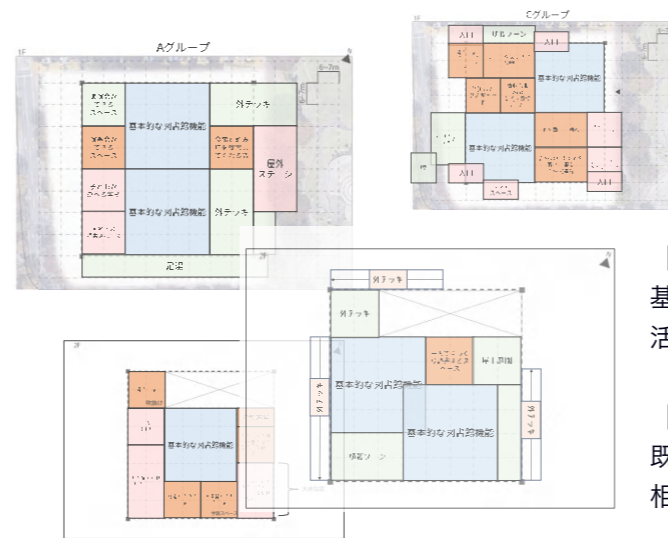
東側からどん3の森に
出入りできるようになれば
来場者の利便性が上がる

駐車場から図書館
までの動線が長い



<第2回>
実施日：2023年10月29日(土) 10:30～12:30
テーマ：図書館のゾーニングをしてみよう

第1回目で検討した、新しい図書館の機能や空間を
実際の形に近いものに落とし込むゾーニング案作成と
作成案に対する機能や過ごし方のおすすめポイントの
提案を行いました。



理想の図書館を
想像できて楽しかった！



自分以外の視点で
考えることができた



【見えてきたこと①】

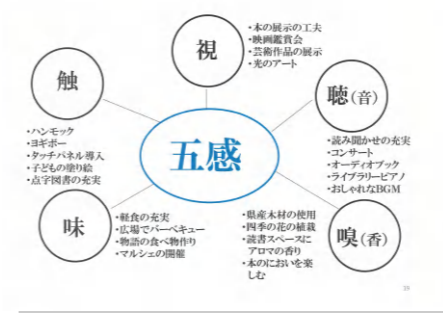
基本的な図書館機能と多目的な使い方ができる空間、
活動的な空間など様々な用途の空間が混在した新しい図書館像

【見えてきたこと②】

既存図書館の「静」のイメージに加え、新しい機能同士が
相乗効果を生む「動」が混在する使い方

さが未来発見塾 in佐賀市

佐賀新聞社主催の「さが未来発見塾in佐賀市」
では、高校生が佐賀市立図書館を主要テーマに
議論を深めて「未来計画」としてまとめ、
佐賀市長に提案を行いました。



佐賀市及び図書館の概要や現状把握、魅力と課題の洗い出しを行い、現地見学や関係者への取材等を通し、「未来計画」
づくりを進めました。最終的に「五感で楽しめる図書館」として未来計画をまとめ、「SAGA'S SAGA (サガズサーガ)
～図書館から始まる物語～」と名付けて、市と図書館が持つ魅力を掛け合わせた図書館像を語りました。

期 間：2023年5月12日～2023年7月7日
対象者：佐賀西高校・佐賀北高校・佐賀清和高校の2、3年生：計16名

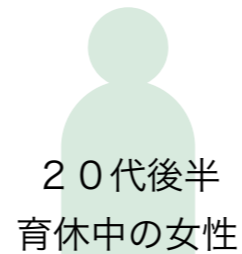
市民の声をモデル化しました

< これまで図書館を利用しなかった人 >

イベントがあれば友達と一緒に来れる！
公園に出たり、図書館に入ったり、自由に動けると気楽でいいな。
会話ができると、緊張感がなくて気軽に立ち寄れるかも。



子どもを連れていきやすいことがまずは大事。
子どもを見守りながら、子育てや趣味の情報を得られると嬉しい。
子どもが歩けるようになったら、外で遊ばせたいな。



たまには図書館でテレワーク。
フリーWi-Fiやコンセントがあると仕事がしやすい。
美味しいコーヒーがあると仕事がかどる！



今日は月に一度の園芸教室に参加！
いろんなイベントがあると、とりあえず図書館に来ちゃうかも。
次はどんなイベントに参加しようかな。



バリアフリーへの配慮が嬉しい！
書架が低いと気軽に本が手に取りやすい。
ゆったりしたスペースがあると移動しやすい。



< 元々図書館をよく利用する人 >

学校帰りに勉強！
みんなで教えあったり、1人で集中できる勉強スペースが嬉しい。
自分にあった使い方ができるからいいな。

子どもといっしょに絵本探し。
いろんな絵本があるし遊べるスペースがあるから楽しい。
一緒に見つけたお気に入りの絵本を借りよっと！

週末は家族と図書館へ！
それぞれ好きな本を見つけるのが楽しそう。
お気に入りの本を読みながらカフェで休憩できる。

週に一度のボランティアに参加！
お友達と一緒に花の植え替えにチャレンジ。
気になる花があったので図書館の本で調べてみる。

気軽に本が読みやすい環境がいい。
大活字本や対面朗読が充実しているから色々な本が読める！
司書さんが声をかけてくれるのは助かるな。

誰もが自由にのびのびと過ごせる図書館を目指します

施設の課題

建物の竣工後約27年の間、部分的な改修工事は行っているものの、大部分は陳腐化が進んでいます。特に設備機器類は耐用年数を超過しており、効率が低下しているものが複数見受けられます。図書館としての機能性については、従来の来館者の8割は概ね満足しているものの、これまで馴染みのない人にとっては訪れにくい雰囲気となっています。一方、耐震性については、1981年以降のいわゆる新耐震基準に基づいて設計されているため、問題はありません。また、約42万冊の蔵書数に対し十分な広さがあります。建物を再活用し大規模改修を実施することで、新しい図書館として生まれ変わらせることができます。



周辺環境を活かしていない



開架が多い



使われていない部屋



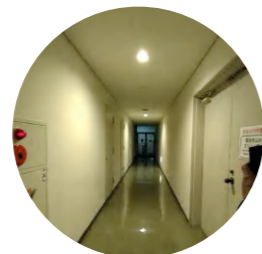
設備の老朽化



バリアフリーの課題

周辺環境や建物の魅力を生かしながら、新しい図書館へと進化する必要があります

運用・サービス面において、部屋の構成や什器の更新により対応可能なものや、根本的な仕組みから改善が必要な課題がいくつも存在します。職員の繁忙によりサービスの低下が起こりうる点や、関係部署との連携が取れていないことで公園とつながる機会を損失している点については、特に重要な課題です。また、ICタグ等の最新機器が導入されていないため、利用者の利便性向上、職員の作業効率向上を図ることができない状況です。大規模改修に合わせて運用・サービス計画の見直しを行い、快適で、円滑に利用できる図書館を目指します。



気軽に訪れにくい雰囲気



機器の陳腐化



企画のマンネリ化



選書支援の不足



職員の繁忙

運営・サービスの課題

現状の課題を分析しました

開架が多く、閉架が少ないため、高密度に書籍が詰め込まれています。



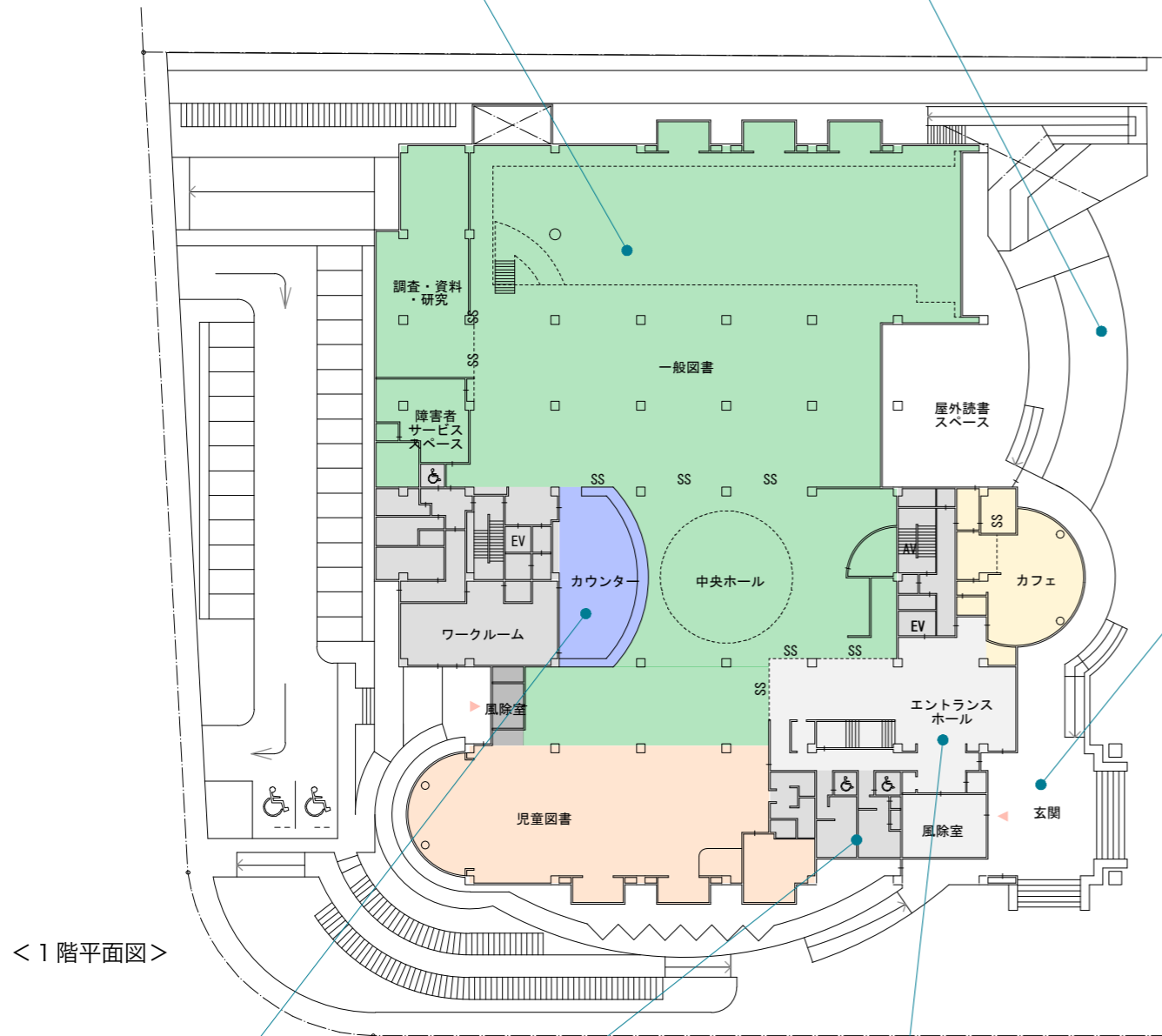
外構が公園と分断した形となっており、屋外と一体感を感じられない状態です。



開架が多く、閉架が少ないため、高密度に書籍が詰め込まれています。



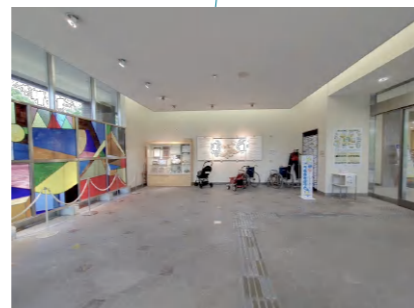
車椅子利用者は、2階開架エリアへのアクセスが困難な状況です。



< 1階平面図 >

デジタル機器が未導入のため更新が必要です。

和式トイレが多く不便な状態です。



本に馴染みのない人にとっては気軽に訪れにくい雰囲気となっています。

北駐車場から玄関が遠いため動線が長く、雨天時は移動が不便です。



< 2階平面図 >

設備が老朽化し、効率が低下している箇所があります。



ハイビジョン室は、時代のニーズに合わず、現在は使われない部屋となっています。

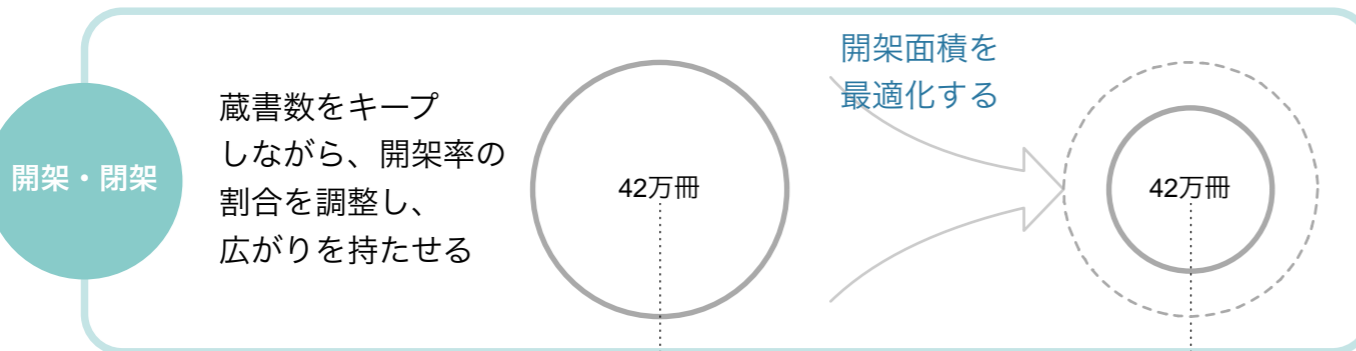
誰もが自由にのびのびと過ごす場所とは？



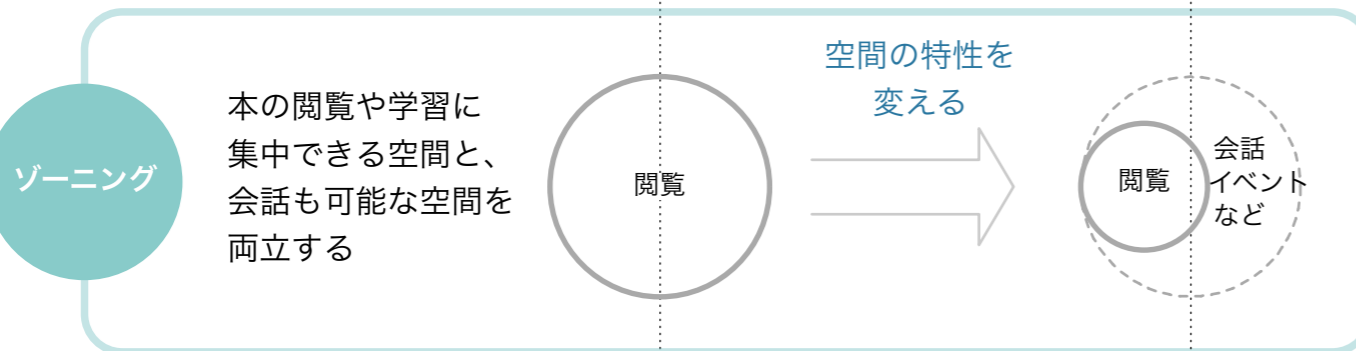
これからの図書館は？

空間にゆとりをもたせる

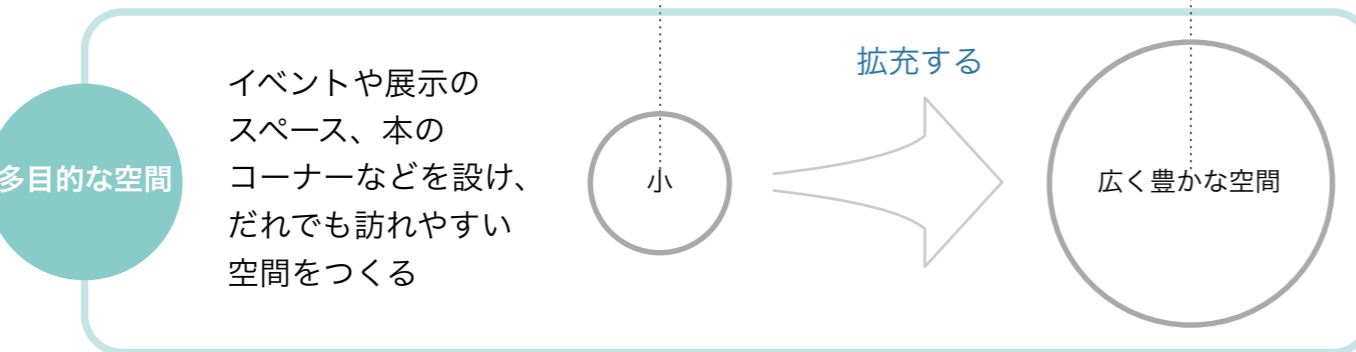
現在の蔵書数に対する建物の規模は、概算で約50冊/m²のため最適な大きさです。しかし、従来の機能を維持しつつ、多様な空間や新しい使い方を取り入れるためには、それぞれの要素のボリュームを整理する必要があります。開架率の調整などにより、ゆとりのある空間をつくります。



利用可能なスペースを増やして
座席数を3倍に！



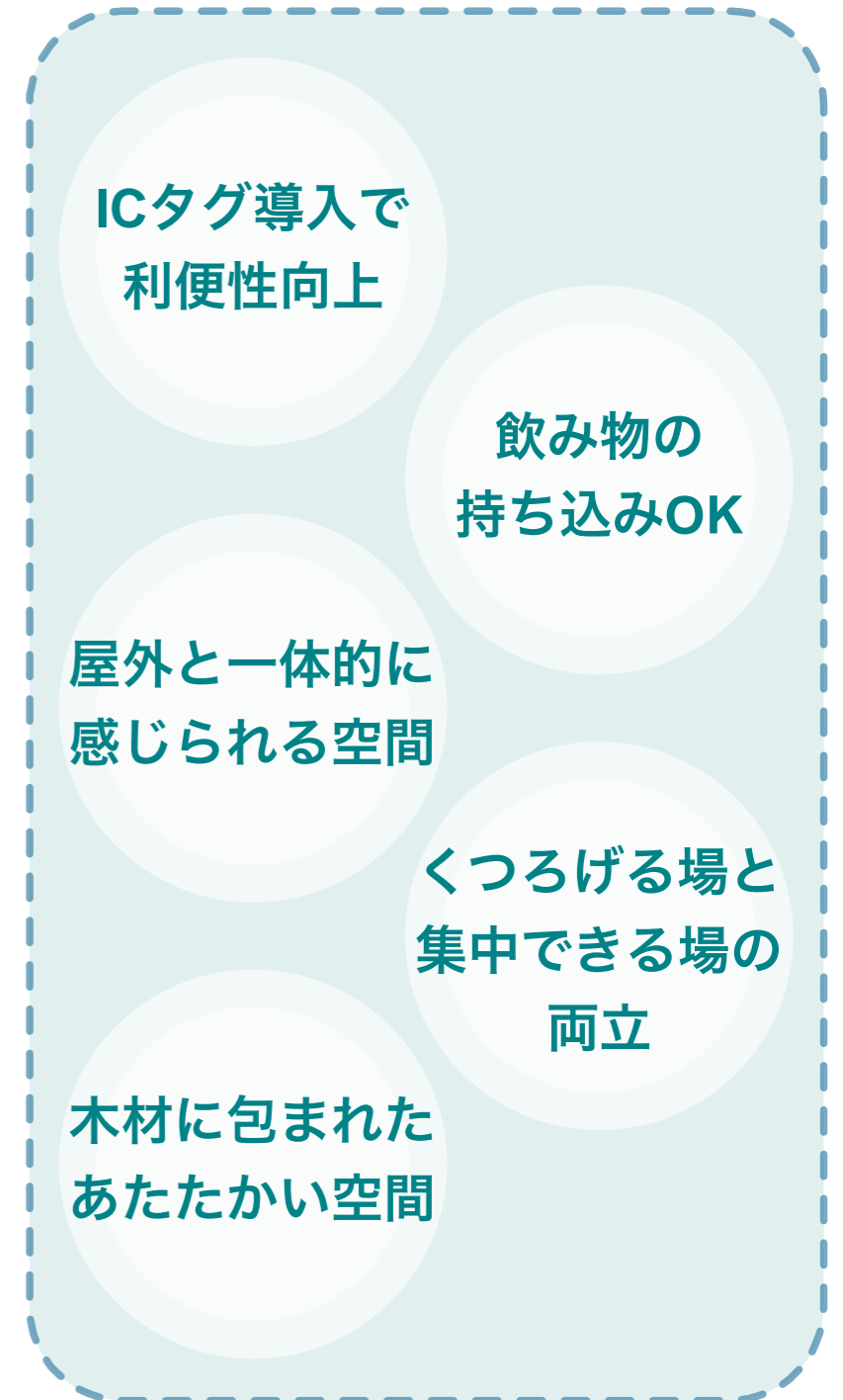
静かな空間と
賑やかな空間の
両立



いつも展示や
イベントで賑わう

機能を向上させる

単にスペースを広げるだけでなく、機能も向上させます。より便利に、より快適に過ごせるようになります。

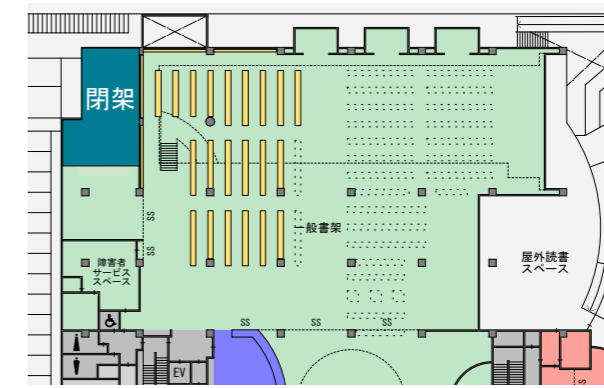
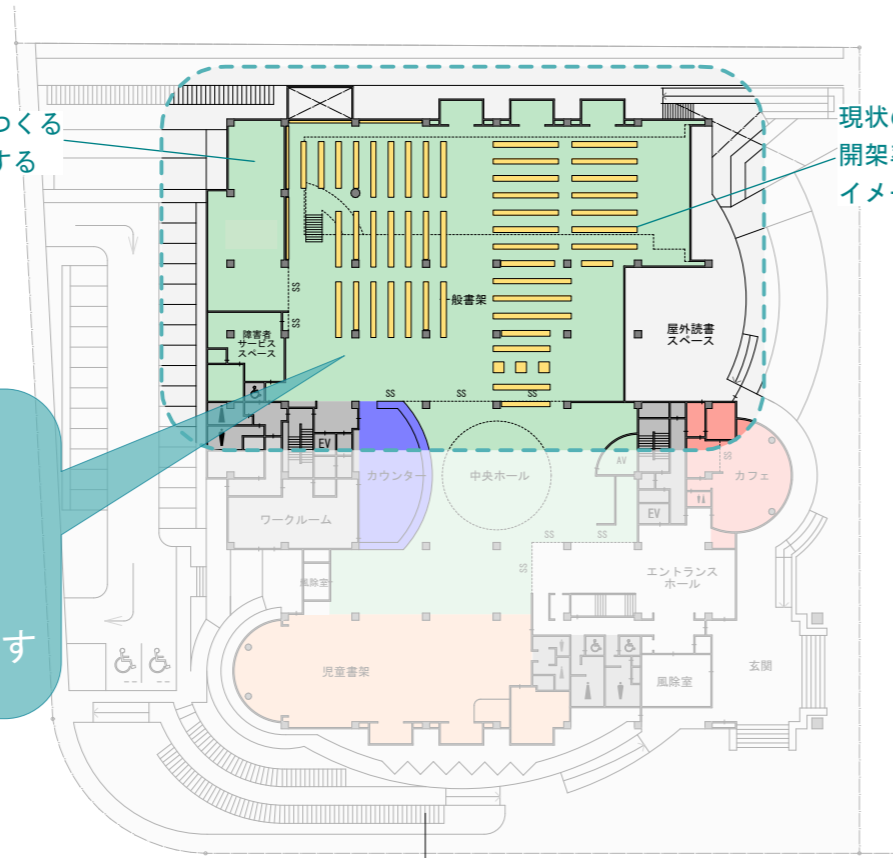


ゆとりある空間を生み出すために

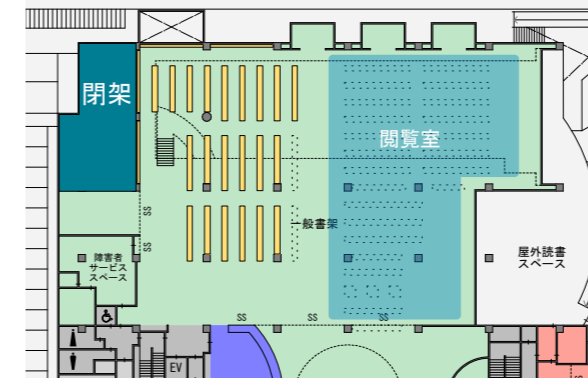
閉架書庫をつくる
場所と仮定する

現状の配架状況から
開架率を下げた状態を
イメージする

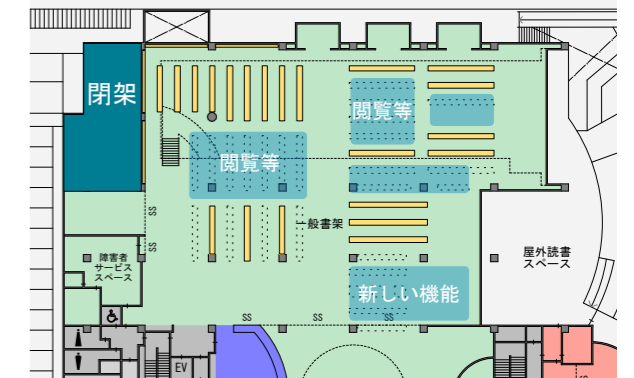
現在は開架率92%で、
閉架書庫がほとんど無い
状態のため、高密度に
書籍が詰め込まれています



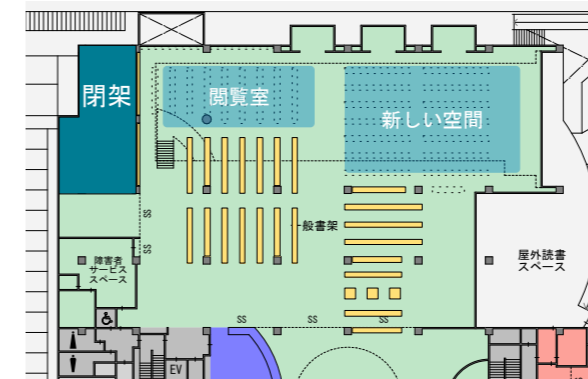
開架率
50%



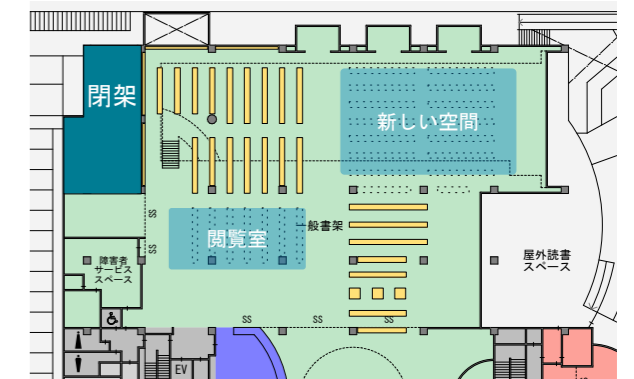
例1：閲覧室をまとめて配置



例2：色々な機能を分散した配置



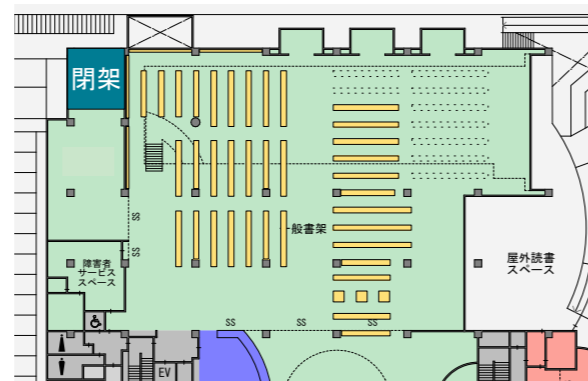
例3：屋外とのつながりを意識した配置



例4：屋外側と屋内側のバランスをとった配置

開架率を **25%** 下げる

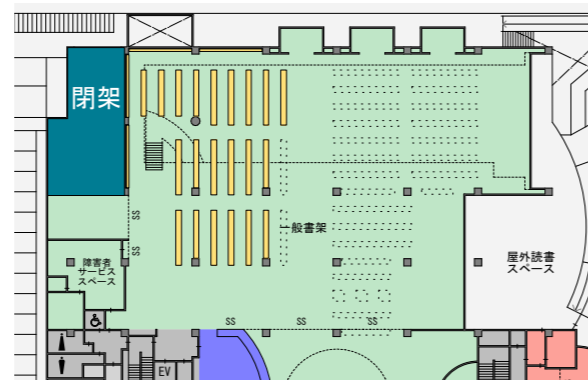
25%程度減らしただけでは
大きな変化は得られない



開架率を **50%** 下げる

開架率を大きく減らすと
自由に考えられる空間が増える

閉架書庫は集密型のため、
開架率が増えても大きな影響はない



- 開架率を下げると、様々な空間の作り方の可能性が広がる
- 閉架書庫が大きくなって空間への影響は小さい
- 開架には厳選された書籍が並ぶため、手に取りやすくなる

開架率を大幅に下げることによって、今後の計画の幅が広がり、
図書・付属機能それぞれに適した豊かな空間を検討しやすい

ゆとりある空間にこんな機能を盛り込みます

多世代が
色々なスタイルで
読書を楽しむ



自動貸出機や
予約本コーナーを
新設



レファレンスの
充実



木がふんだんに
使われた空間



佐賀の文化に触れ
郷土愛を深める場



手織り佐賀錦や肥前びーどろなど、佐賀の文化に触れることのできる展示コーナー

会話や飲食の
新しいルール



カフェ
グッズショップ



ブックカバーやしおりなどのグッズショップ、
カフェなどのショップを導入

自由に会話でき、コーヒーを飲みながら
読書を楽しむことができるルールづくり



開館時間延長など
自由度を高める運用



テレワークや
グループ学習の
スペース



パソコンの持ち込みが可能なエリアや
ティーンズが積極的に活用できるスペース

創作や文化活動の
ためのスペース



ワークショップやマーケット、セミナーなど、
市民のコミュニティ促進や創作活動の支援の場

今ある施設を活かす

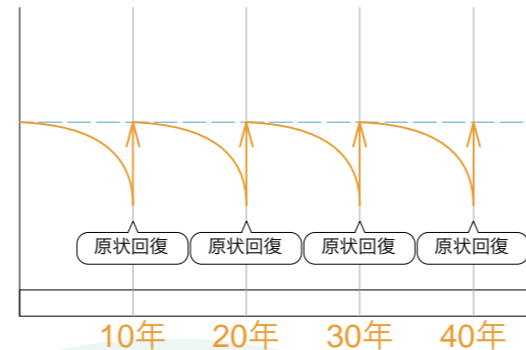
地球環境への配慮

- ・本市は令和2年10月20日に「ゼロカーボンシティさがし」を表明し、2050年までに二酸化炭素 排出量実質ゼロにする目標を掲げました。
- ・建て替え工事に比べ大規模改修工事は、廃棄物量は約50%、CO2排出量は約70%削減できる可能性があり、地球環境に配慮した取り組みとなります。
- ・これまで大切に使われてきた建物を次世代に引き継ぎ、図書館の歴史を繋ぎます。

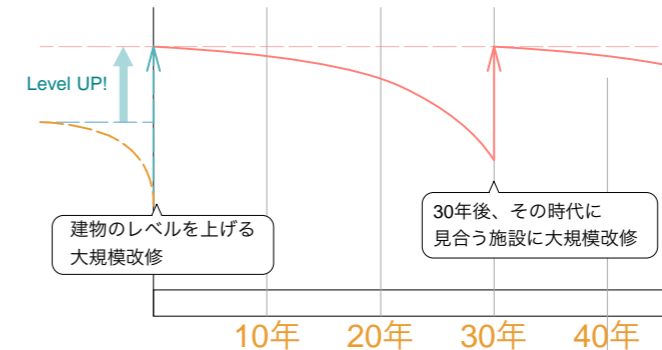


建物の価値を生かす

- ・顕著な劣化や耐震性の問題もなく、今後も長期的に利用できる可能性があります。
- ・建て替えの場合、現在よりも利便性の高い敷地もなく、費用も多分にかかるため、改修工事が適しています。
- ・大規模改修工事を行うことで、設備機器類の一新も可能となります。



- ・工事にかかる費用小さい
- ・次の改修までの期間 ...短い
- ・建物全体を変化させることができない
- ・設備機器の一新ができない



- ・工事にかかる費用大きい
- ・次の改修までの期間 ...長い
- ・内外装、プラン等、全体を変化させることができる
- ・設備機器の一新が可能



未来を見据え、持続可能な図書館へと生まれ変わります

SDGsとは、Sustainable Development Goalsの略称であり、一般的に「持続可能な開発目標」と訳されています。2001年に策定されたミレニアム開発目標（SDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

市産材の積極的な活用



建築物全体における木材の利用を促進していくことは、炭素の貯蔵を通じた脱炭素社会の実現、都市等における快適な生活空間の形成、地域の経済の活性化等に大きく貢献することが期待されます。木材は、断熱性、調湿性に優れ、紫外線を吸収する効果や衝撃を緩和する効果が高い等の性質を有しており、木の香りで人をリラックスさせたり、木の印象が建物への愛着や誇りを高めたり、集中力を高めるなど心理面・身体面・学習面等での効果も期待されます。



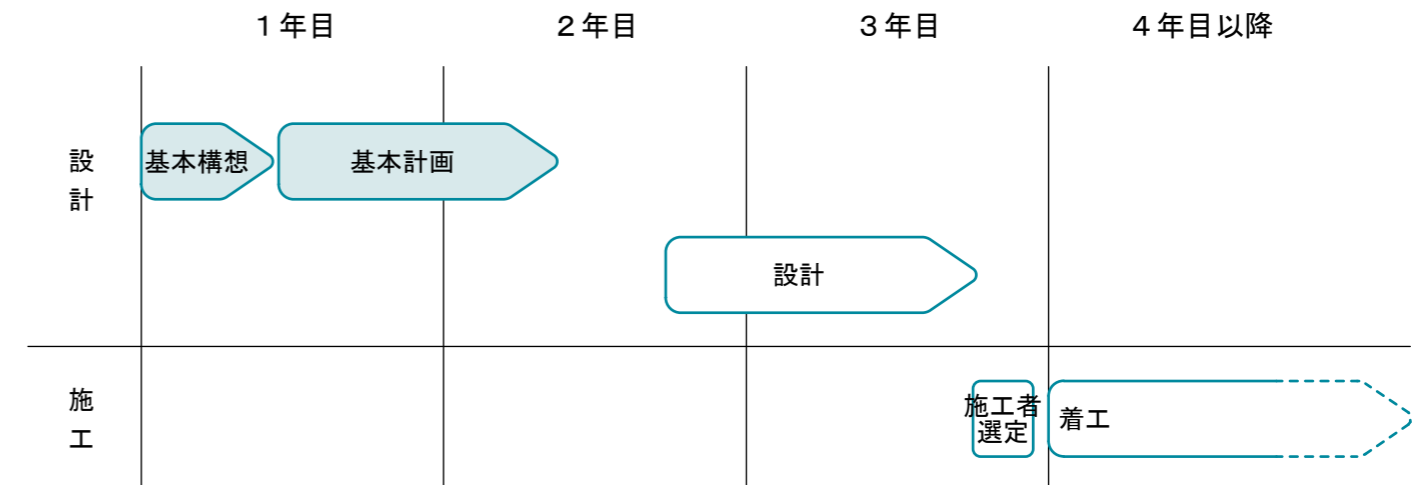
多様な資料の提供とレファレンス（調べものの支援）を中心とした図書館サービスによって、SDGsに定められた17の目標のうち、特に「すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことに貢献します。

すべての人に届けるために

今後のスケジュール

今後のスケジュールについて

- ・次年度以降、設計者の選定を行い、建物や周辺の計画について検討を進めます。
- ・工事中は本館は休館となる予定です（分館・分室は開館します）。
- ・今後、スケジュールは変更となる可能性があります。



佐賀市立図書館大規模改修 基本構想・基本計画 策定委員会

<参加メンバー>

- ・学識経験者 富吉 賢太郎（佐賀市総合計画審議委員）
- ・経済界代表 田畠 寿太郎（佐賀商工会議所紹介、(株)佐賀バルナーズ代表）
- ・図書館専門家 白根 恵子（佐賀市立図書館協議会 会長）
- ・ユーザー 寺野 幸子（佐賀市女性人材リスト登録）
- ・イベント主催者 清田 祥一朗（喫茶「パンゲア」経営、(株)サードプレイス代表）
- ・ボランティア 迎 洋子（図書館を友とする会・さが会員）
- ・一般公募 飯盛 裕介
- ・オブザーバー 内田 勝也（佐賀市職員・「〇〇な障がい者の会」代表）

開催結果の詳細は、佐賀市HPをご覧ください。

佐賀市立図書館大規模改修 基本構想・基本計画

発行：佐賀市教育委員会 教育部 図書館
 〒840-0815 佐賀市天神三丁目2番15号
 TEL：0952-40-0001
 FAX：0952-40-0111
 E-mail：toshokan@city.saga.lg.jp
 Web：https://www.lib.saga.saga.jp /

